

ゼクシィ結婚トレンド調査2023

挙式、披露宴・ウエディングパーティー総額平均327.1万円、昨年調査から23.3万円回復
結婚式は一層「自己肯定感が高まる場」となり
「自分たちが楽しむ」気持ちを大切にす兆しも

披露宴・ウエディングパーティー実施者が満足した割合は2009年調査以来最高

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘）が企画運営する結婚情報誌『ゼクシィ』では、新婚カップルの結婚スタイルについて詳細に把握するために、毎年「ゼクシィ結婚トレンド調査」を実施しています。調査結果の一部を抜粋してご報告申し上げます。

- 1. 披露宴・ウエディングパーティー実施者が自身の披露宴・ウエディングパーティーに満足した割合は、全国推計を開始した2009年調査以来最高。自己肯定感が高まる場になっている**
 - ・披露宴・ウエディングパーティーについて「満足・計」は97.8%で、昨年調査から1.5ポイント増加し、全国推計を開始した2009年調査以来最高。内訳をみると、昨年調査から「非常に満足」が5.1ポイント増加、「まあ満足」が3.6ポイント減少。
 - ・結婚式を通して、自分自身やこれまでの人生が好きになったと思う人（「そう思う・計」）は78.1%で、年々増加傾向。
 - ・結婚式を通して、列席者から二人が応援されていると感じた人（「そう思う・計」）は95.4%で、年々増加傾向。（→P3）
- 2. 披露宴・ウエディングパーティーを実施した理由として「自分たちが楽しむため」が、唯一年々増加傾向。また、友人など親・親族以外の方への気持ちも、コロナ禍での減少から徐々に回復**
 - ・披露宴・ウエディングパーティーを実施した理由は、「自分たちが楽しむため」が年々増加傾向にあり、2020年調査から2023年調査で4.1ポイント増加。一方、「友人など親・親族以外の方に感謝の気持ちを伝えるため」「友人など親・親族以外の方に喜んでもらうため」は2021年調査で減少したものの、2022年調査以降2年連続して増加し、徐々に回復。（→P4）
- 3. 担当プランナーとのコミュニケーションで最も多いのは「自分たちらしい結婚式になるような提案」**
 - ・会場決定後の担当プランナーとのコミュニケーションの内容は、「自分たちらしい結婚式になるような提案があった」が63.4%で最も高く、次いで「自分たちの要望や意図を理解してくれた」が54.4%、「疑問や不安などがないか親身になってくれた」が51.5%で続く。（→P5）
- 4. コロナ禍による予算・金額面、招待・参加人数面への影響は引き続きみられる。特に、招待・参加人数面で「影響があった」割合が約4割**
 - ・コロナ禍による挙式、披露宴・ウエディングパーティーへの予算・金額面での影響は、「影響があった・計」が20.4%で、昨年調査から19.1ポイント減少。
 - ・コロナ禍による挙式、披露宴・ウエディングパーティーへの招待・参加人数面での影響は、「影響があった・計」が40.8%で、昨年調査から27.1ポイント減少。（→P6）
- 5. 挙式、披露宴・ウエディングパーティー総額の平均は引き続き回復傾向**
 - ・挙式、披露宴・ウエディングパーティー総額の平均は327.1万円で、昨年調査から23.3万円回復。（→P7）
- 6. 招待客人数の平均は49.1人で、昨年調査から5.9人回復。勤務先の上司・同僚の主たる招待基準が、「親しくしていること」へ変化**
 - ・披露宴・ウエディングパーティーの招待客人数の平均は49.1人で、昨年調査から5.9人増。（→P8）
 - ・勤務先の上司・同僚の招待基準は、「親しくしていること」が75.6%で年々増加傾向、「招待しないと失礼にあたること」が36.6%で年々減少傾向。（→P10）

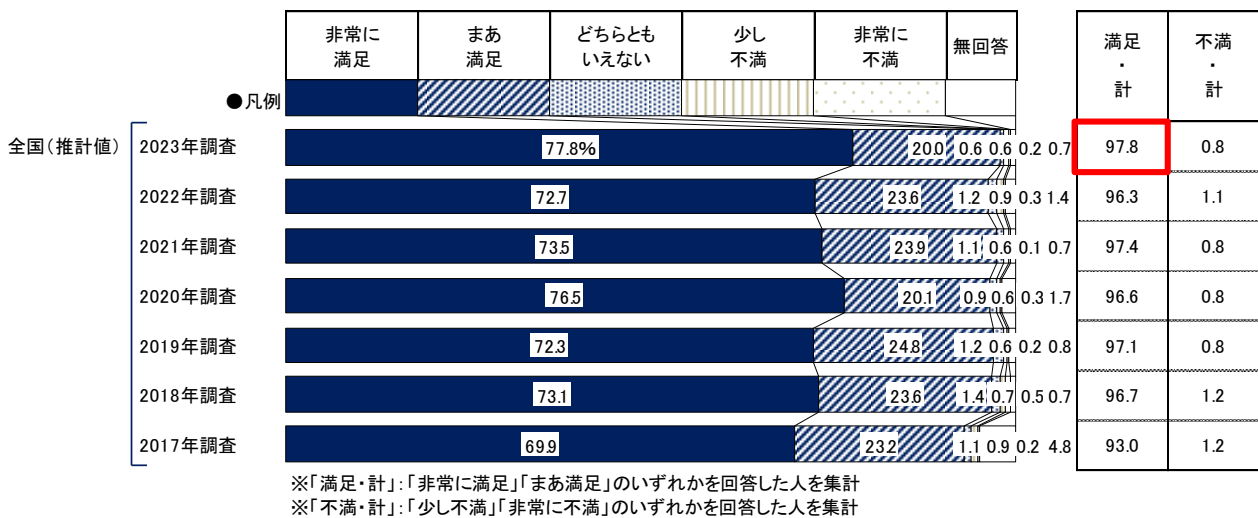
本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

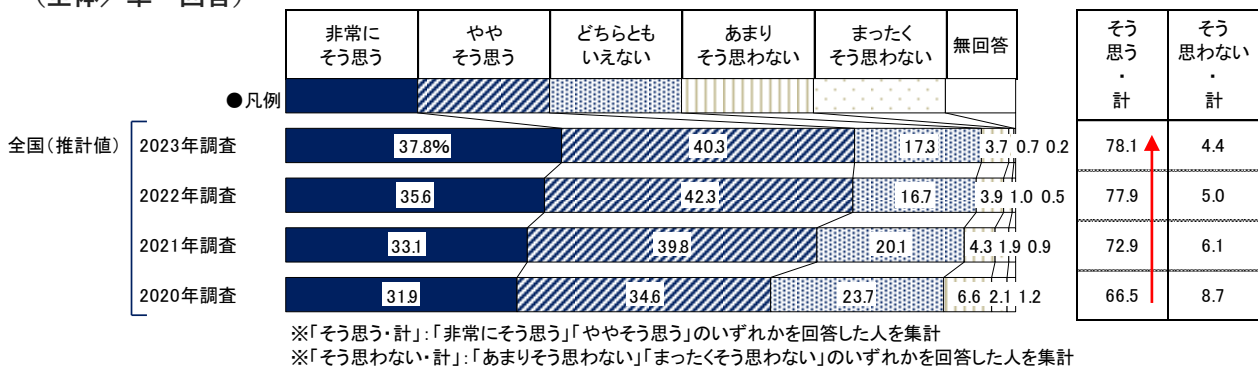
1. 披露宴・ウェディングパーティーの満足度と結婚式を通して得たこと

- ▶ 披露宴・ウェディングパーティーについて「満足・計」は97.8%で、昨年調査から1.5ポイント増加。全国推計を開始した2009年調査以来最高。内訳では、昨年調査から「非常に満足」が5.1ポイント増加し、「まあ満足」が3.6ポイント減少している。
- ▶ 結婚式を通して得たことにおいて、結婚式を通して、自分自身やこれまでの人生が好きになったと思う人（「そう思う・計」）は78.1%で、年々増加傾向にある。
- ▶ 結婚式を通して、列席者から二人が応援されていると感じた人（「そう思う・計」）は95.4%で、年々増加傾向にある。

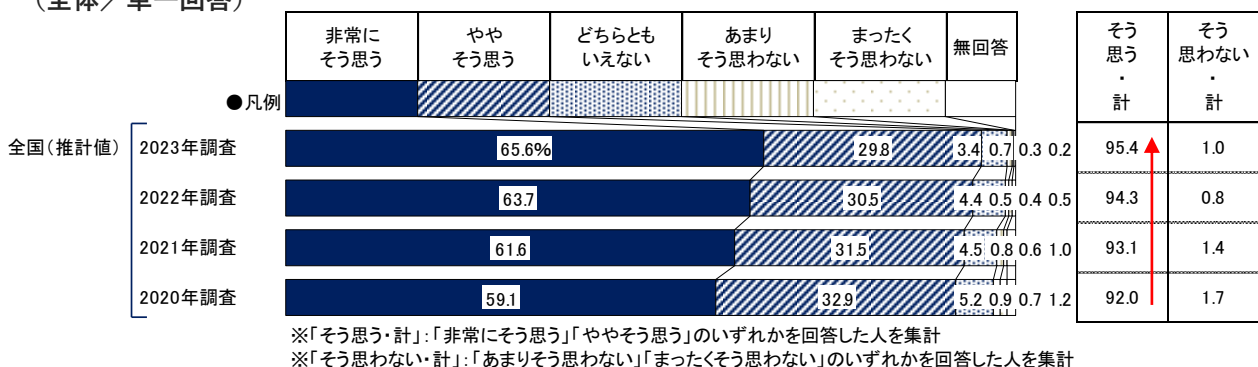
■ 披露宴・ウェディングパーティーの満足度（披露宴・ウェディングパーティー実施者／単一回答）



■ 結婚式を通して得たこと／結婚式を通して、自分自身やこれまでの人生が好きになったと思う（全体／単一回答）



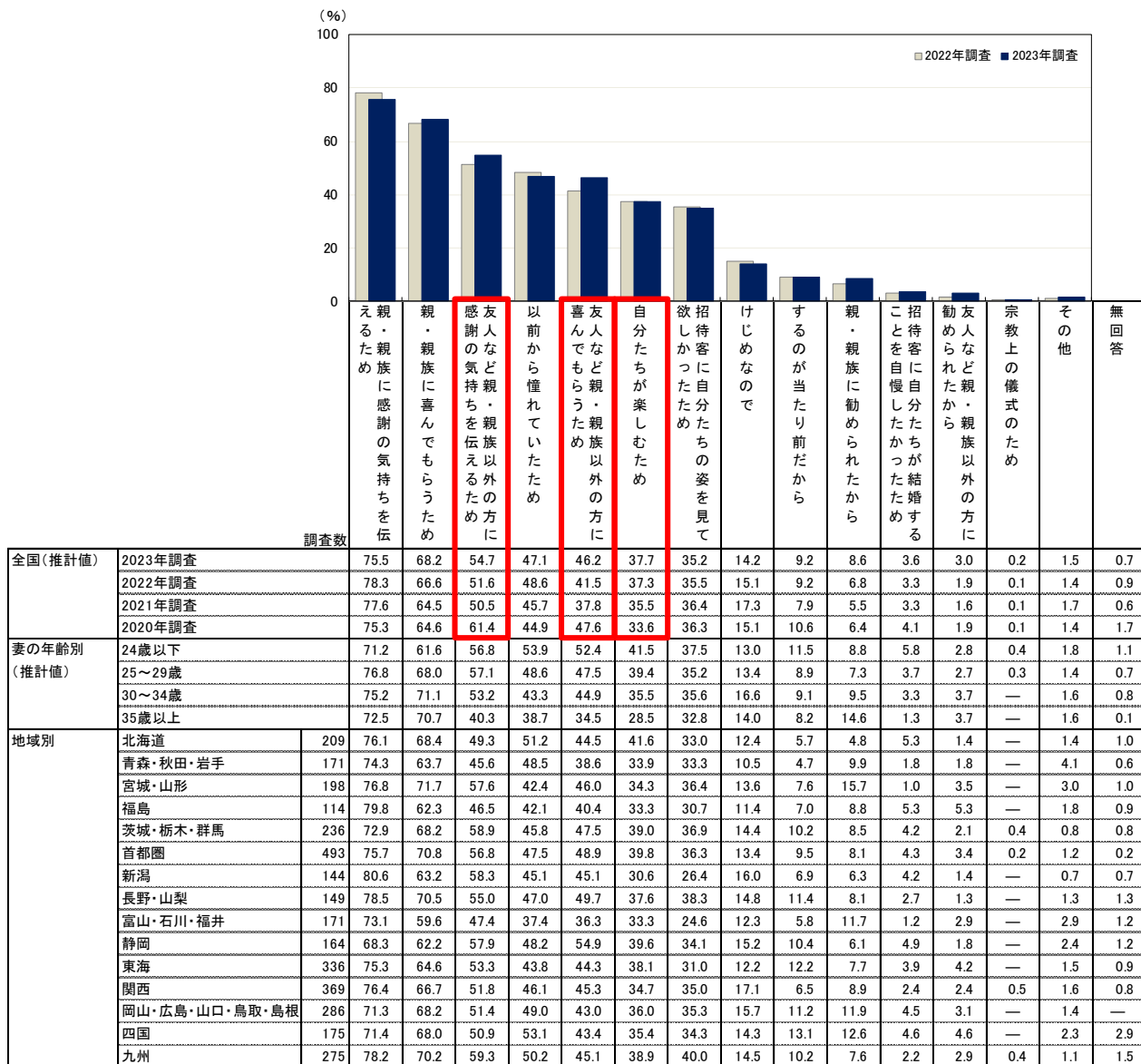
■ 結婚式を通して得たこと／結婚式を通して、列席者から二人が応援されていると感じた（全体／単一回答）



2. 披露宴・ウエディングパーティーを実施した理由

- ▶ 披露宴・ウエディングパーティーを実施した理由は、「親・親族に感謝の気持ちを伝えるため」が75.5%で最も高く、次いで「親・親族に喜んでもらうため」が68.2%、「友人など親・親族以外の方に感謝の気持ちを伝えるため」が54.7%で続く。
- ▶ 時系列でみると、「自分たちが楽しむため」は唯一、年々増加傾向にあり、2020年調査から2023年調査で4.1ポイント増加。一方、「友人など親・親族以外の方に感謝の気持ちを伝えるため」「友人など親・親族以外の方に喜んでもらうため」は、2021年調査で9ポイント以上減少したものの、2022年調査以降2年連続して増加し、徐々に回復。

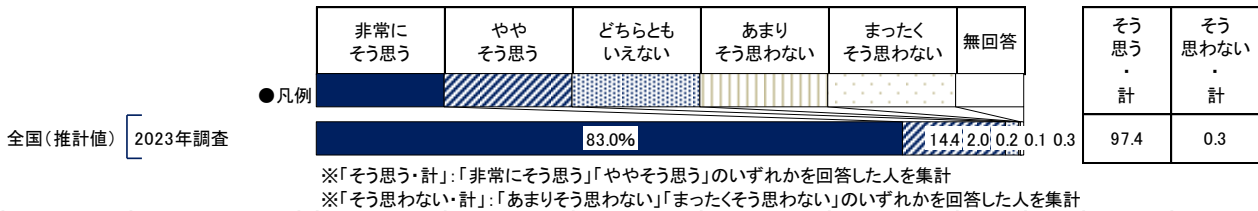
■ 披露宴・ウエディングパーティーを実施した理由（披露宴・ウエディングパーティー実施者／複数回答）



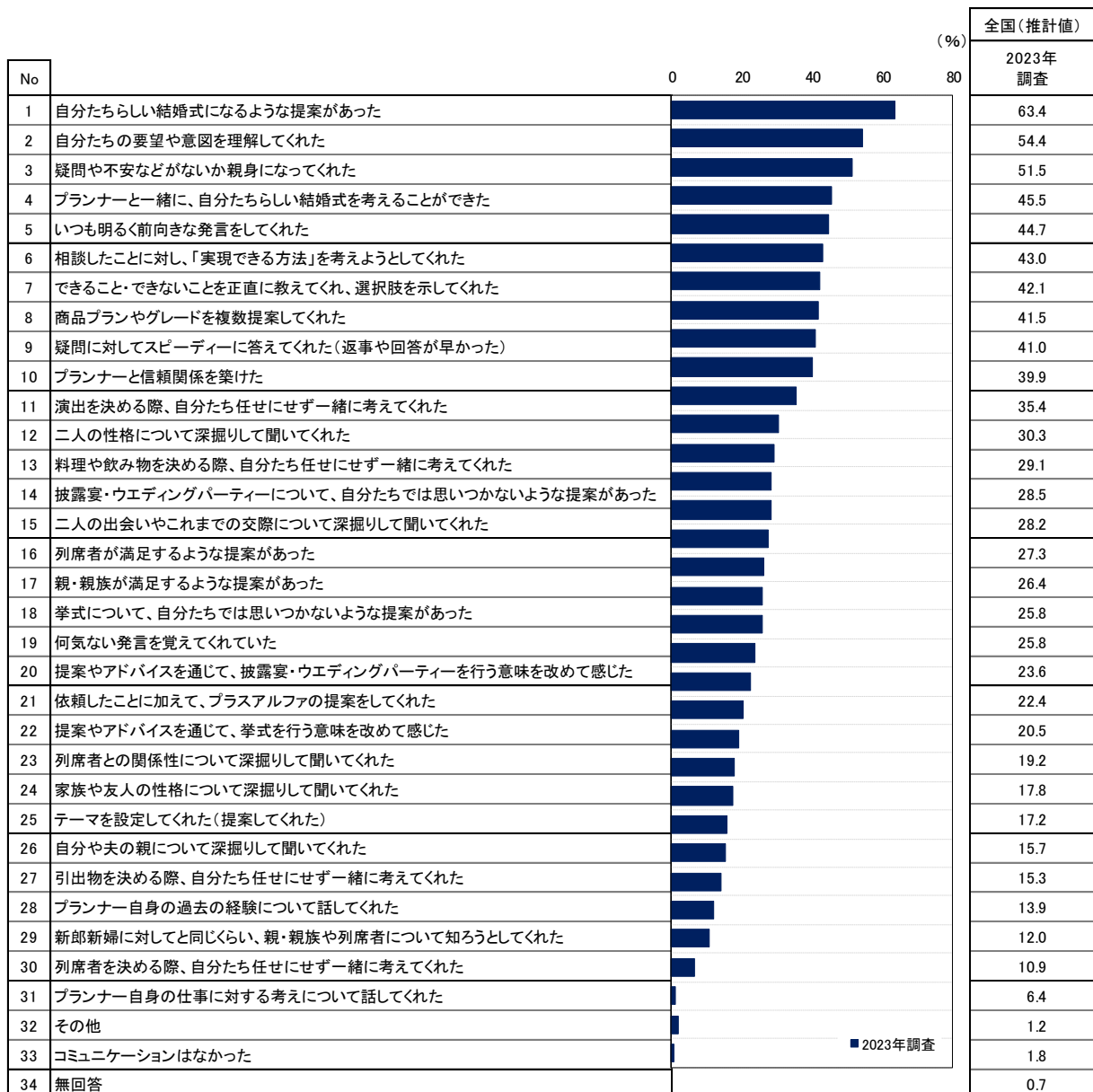
3. 「自分たちらしい結婚式」への評価と担当プランナーコミュニケーションの内容

- 結婚式を通して得たことにおいて、自分たちらしい結婚式ができたと思う人（「そう思う・計」）は97.4%。
- 会場決定後の担当プランナーとのコミュニケーションの内容は、「自分たちらしい結婚式になるような提案があった」が63.4%で最も高く、次いで「自分たちの要望や意図を理解してくれた」が54.4%、「疑問や不安などがなく親身になってくれた」が51.5%で続く。

■ 結婚式を通して得たこと／自分たちらしい結婚式ができたと思う（全体／単一回答）



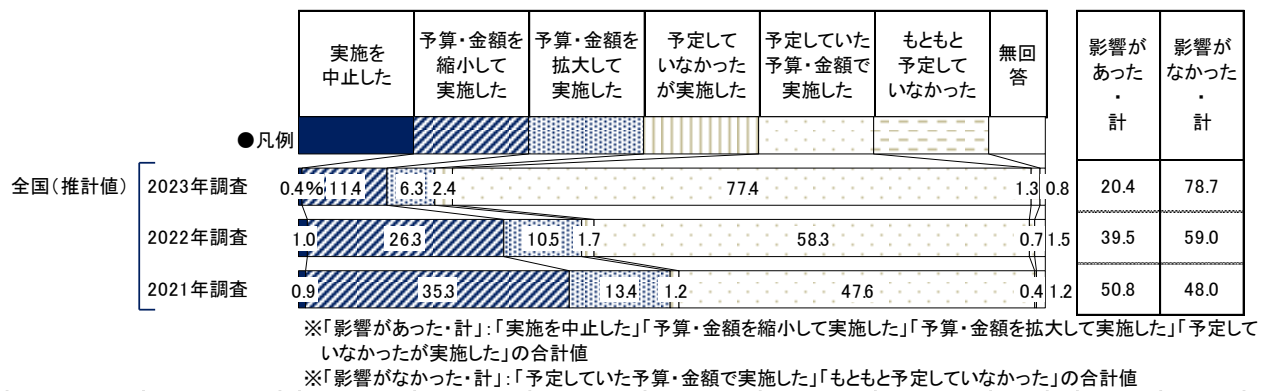
■ 会場決定後の担当プランナーとのコミュニケーションの内容（全体／複数回答）



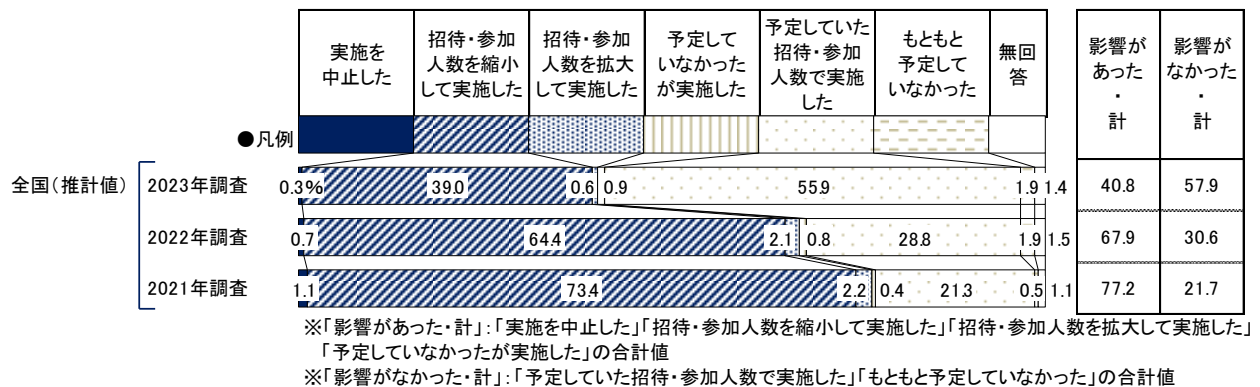
4. コロナ禍による挙式、披露宴・ウエディングパーティーへの予算・金額面、招待・参加人数面の影響

- ▶ コロナ禍による挙式、披露宴・ウエディングパーティーへの予算・金額面での影響は、「影響があった・計」が20.4%で、昨年調査から19.1ポイント減少。
- ▶ コロナ禍による挙式、披露宴・ウエディングパーティーへの招待・参加人数面での影響は、「影響があった・計」が40.8%で、昨年調査から27.1ポイント減少。

■ コロナ禍による挙式、披露宴・ウエディングパーティーへの予算・金額面での影響（全体／単一回答）



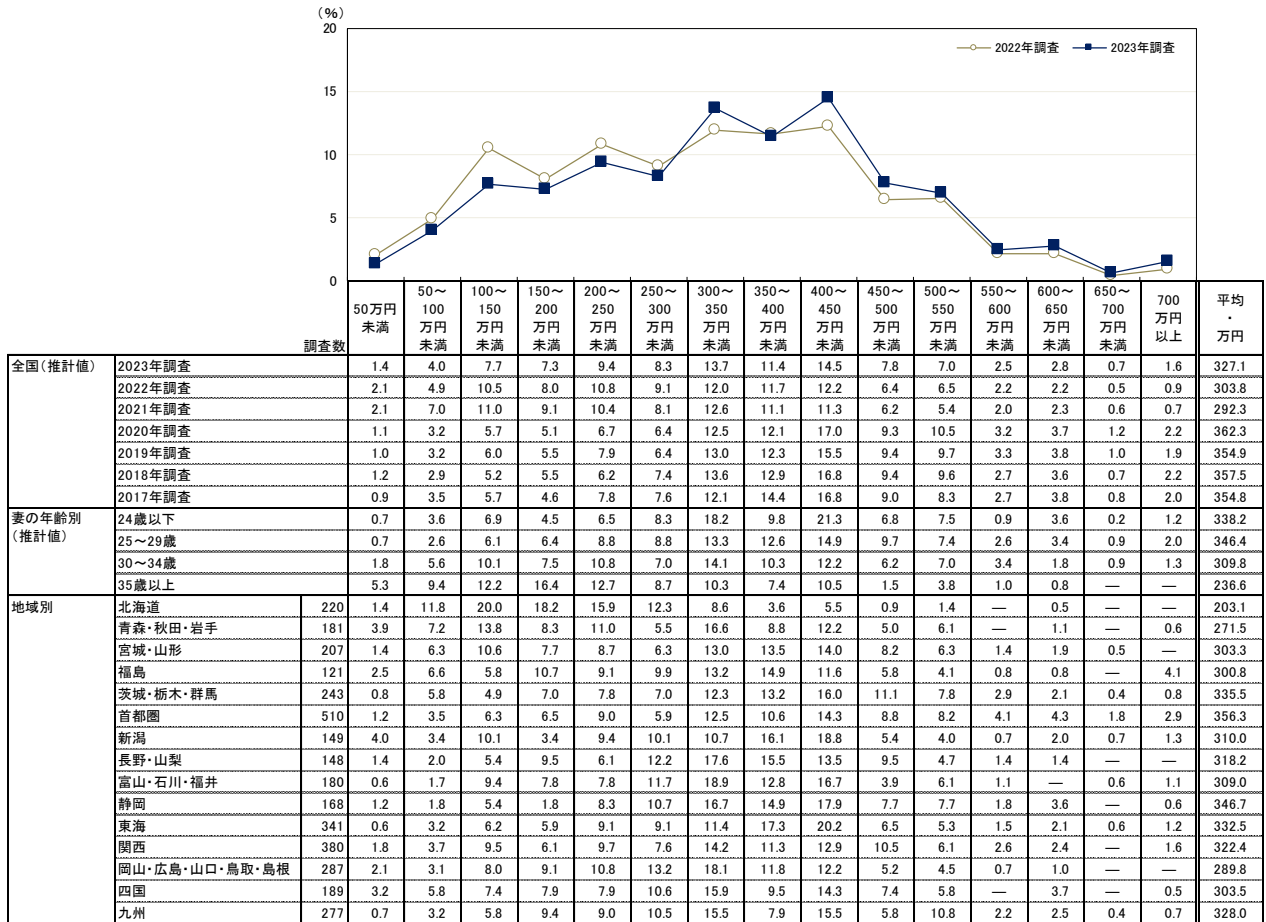
■ コロナ禍による挙式、披露宴・ウエディングパーティーへの招待・参加人数面での影響（全体／単一回答）



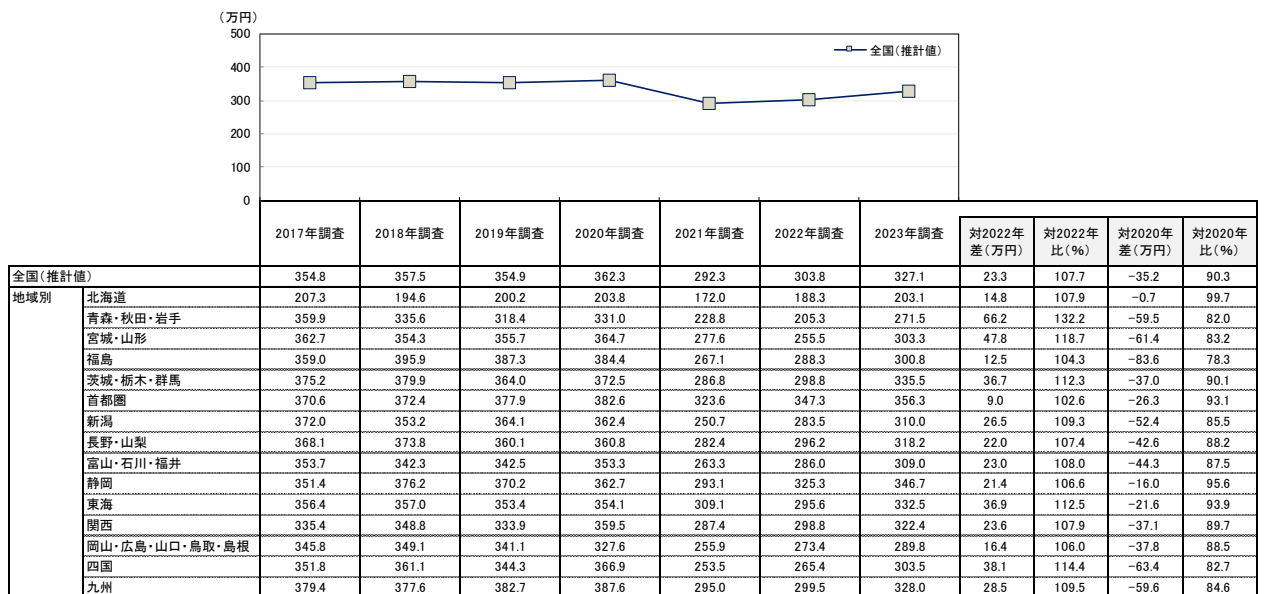
5. 挙式、披露宴・ウエディングパーティー総額

挙式、披露宴・ウエディングパーティー総額の平均は327.1万円で、昨年調査から23.3万円回復。
2020年調査（コロナ禍前）比では、90.3%まで回復。

■ 挙式、披露宴・ウエディングパーティー総額（金額回答者のみ／単一回答）



■ 挙式、披露宴・ウエディングパーティー総額の平均推移（金額回答者のみ／単一回答）

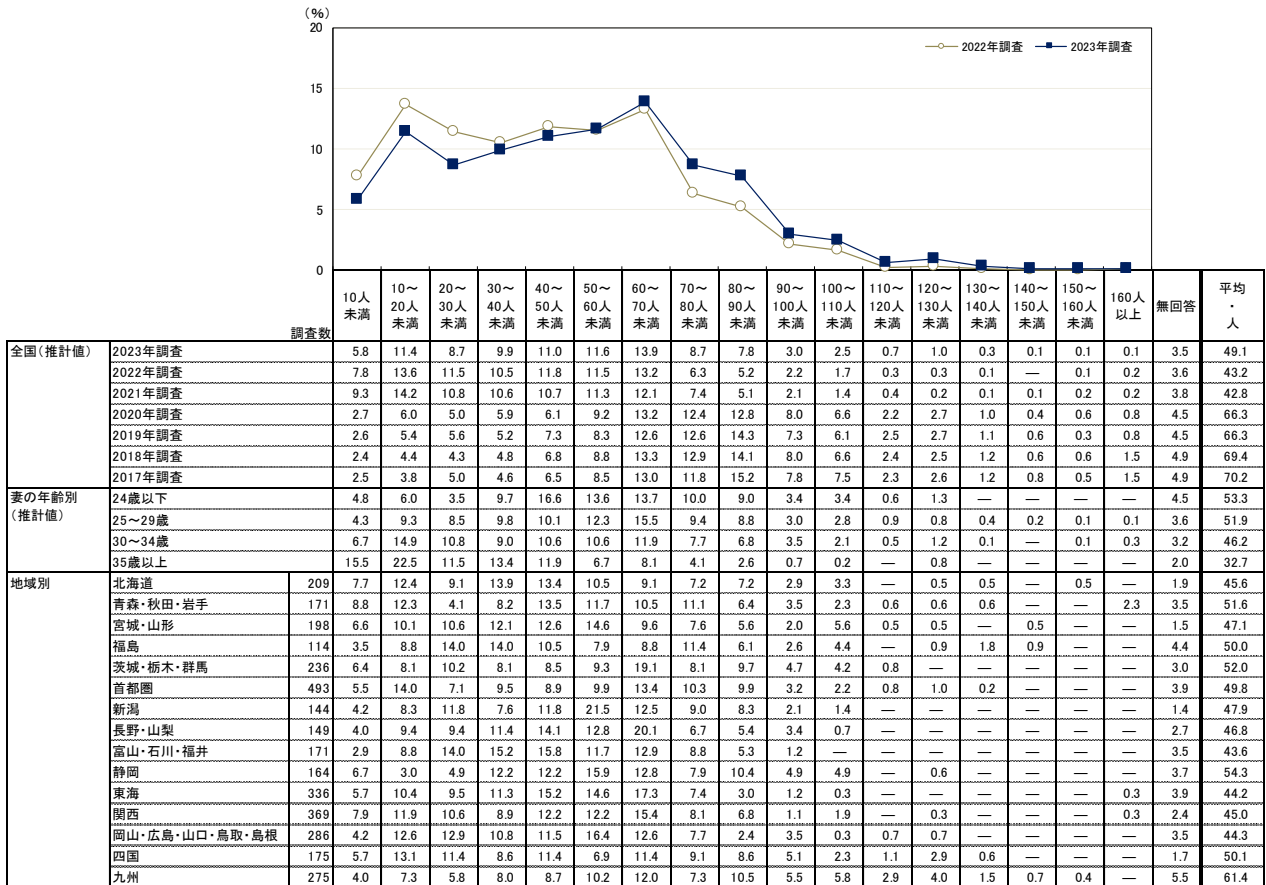


※過去比較は、前年調査比に加え、コロナ禍前と比較するため、2020年調査(2019年4月～2020年3月実施者対象)比を掲載

6. 披露宴・ウエディングパーティーの招待客人数および招待基準

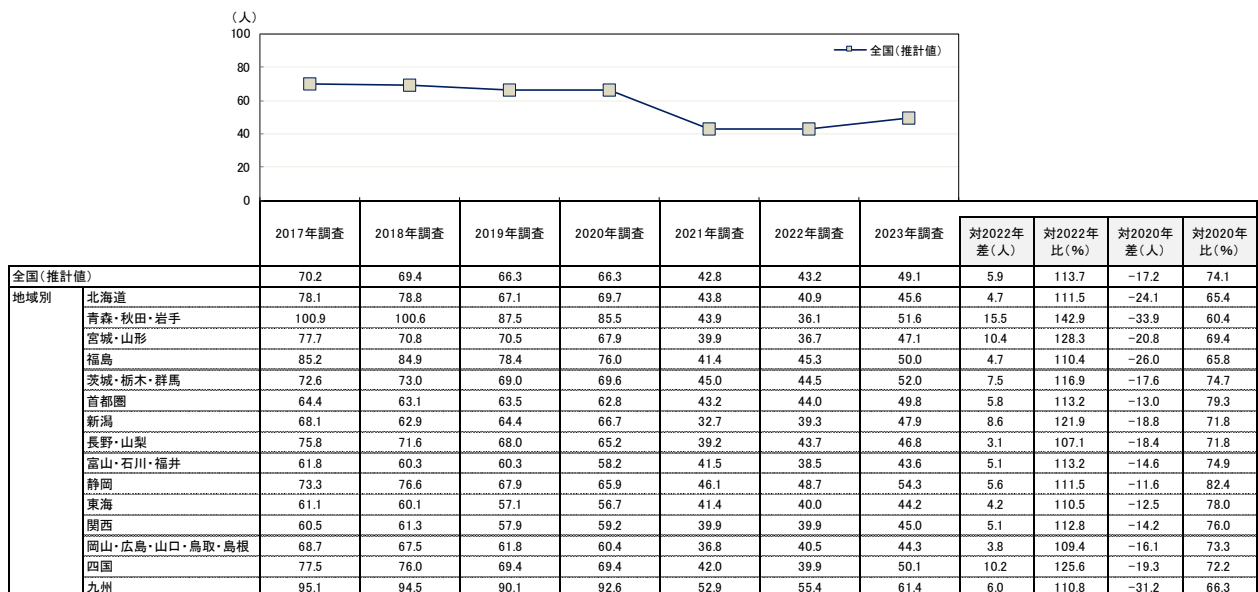
披露宴・ウエディングパーティーの招待客人数の平均は49.1人で、昨年調査から5.9人増加。

■ 披露宴・ウエディングパーティーの招待客人数（披露宴・ウエディングパーティー実施者／単一回答）



■ 披露宴・ウエディングパーティーの招待客人数の平均推移

(披露宴・ウエディングパーティー実施者／単一回答)



6. 披露宴・ウエディングパーティーの招待客人数および招待基準

新郎・新婦との間柄別の披露宴・ウエディングパーティーの招待客人数の平均は、昨年調査から「親族」が2.0人増加、「学生時代の恩師・友人」が3.2人増加。

■ 招待客別 披露宴・ウエディングパーティーの招待客人数の平均推移

(披露宴・ウエディングパーティー実施者のうち、各項目の人数回答者／それぞれ単一回答)

		2017年調査	2018年調査	2019年調査	2020年調査	2021年調査	2022年調査	2023年調査
全国(推計値)	親族	25.2	25.1	24.4	23.6	18.4	18.4	20.4
	学生時代の恩師・友人 (勤務先以外の友人)	27.0	26.5	26.2	26.8	16.0	17.9	21.1
	勤務先の上司・同僚	16.4	16.2	15.1	15.0	7.4	6.8	7.3
	親の友人・知人、近所の人	2.4	2.5	2.1	2.1	0.7	0.9	1.0
	その他	2.6	2.6	2.2	2.4	0.9	1.1	1.0

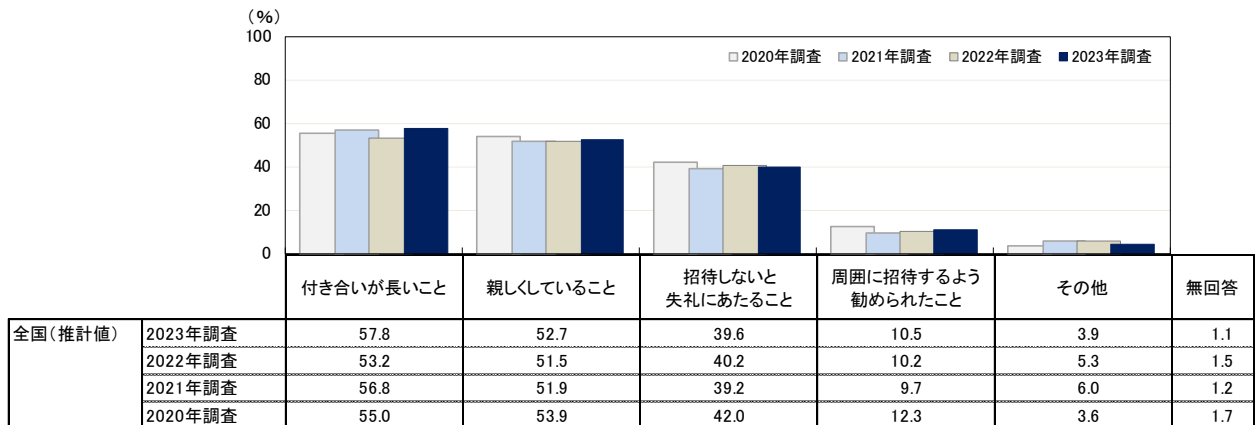
※招待客別人数は、「親族」「学生時代の恩師・友人(勤務先以外の友人)」「勤務先の上司・同僚」「親の友人・知人、近所の人」(平均・人)
「その他」それぞれを回答した人の平均であり、各項目の平均人数の合計は、全体の招待客人数とは一致しない

6. 披露宴・ウエディングパーティーの招待客人数および招待基準

披露宴・ウエディングパーティーへの親族の招待基準は、「付き合いが長いこと」が57.8%、「親しくしていること」が52.7%。学生時代の恩師・友人の招待基準は、「親しくしていること」が88.3%、「付き合いが長いこと」が65.4%。勤務先の上司・同僚の招待基準は、「親しくしていること」が75.6%で年々増加傾向、「招待しないと失礼にあたること」が36.6%で年々減少傾向にある。

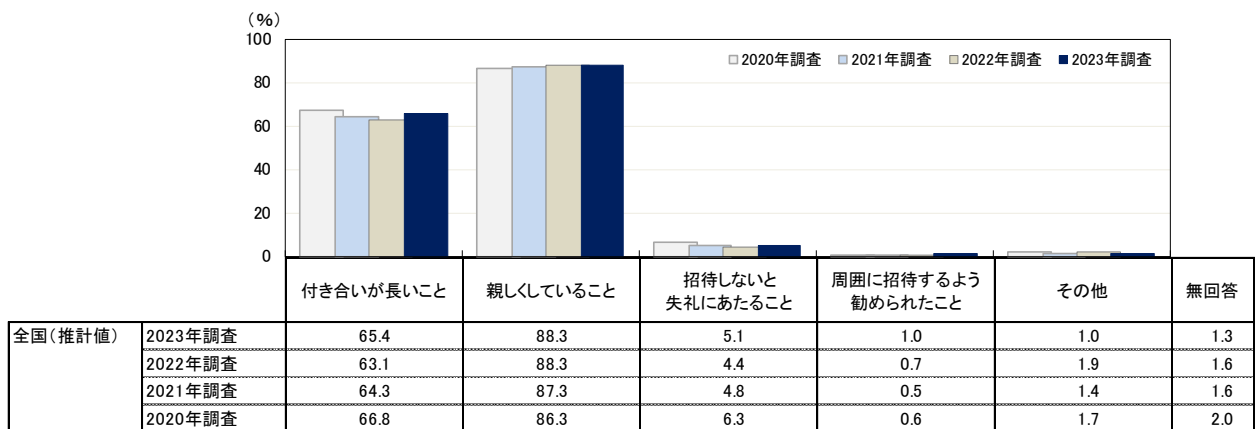
■ 披露宴・ウエディングパーティーへの親族の招待基準

(披露宴・ウエディングパーティー実施者のうち、親族を招待した人／複数回答)



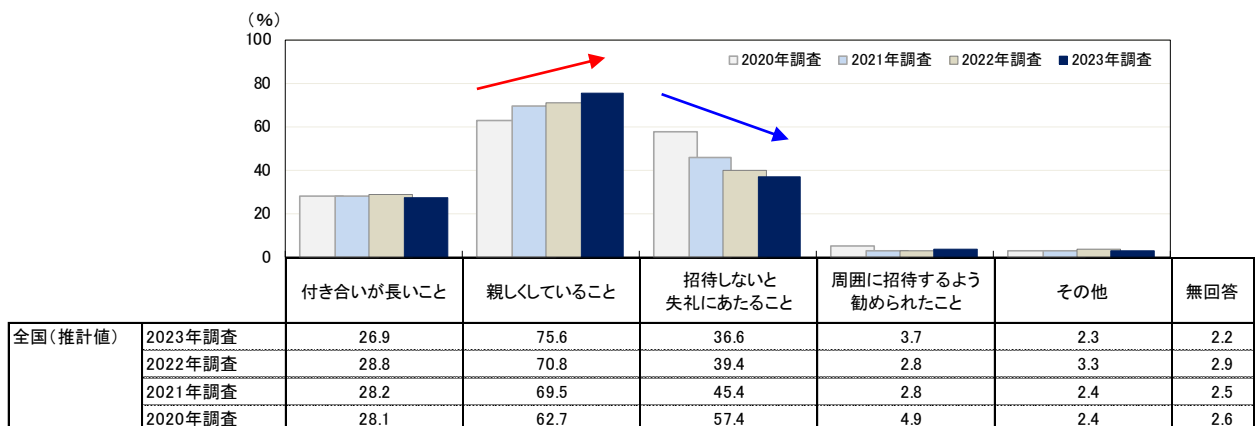
■ 披露宴・ウエディングパーティーへの学生時代の恩師・友人の招待基準

(披露宴・ウエディングパーティー実施者のうち、学生時代の恩師・友人を招待した人／複数回答)



■ 披露宴・ウエディングパーティーへの勤務先の上司・同僚の招待基準

(披露宴・ウエディングパーティー実施者のうち、勤務先の上司・同僚を招待した人／複数回答)

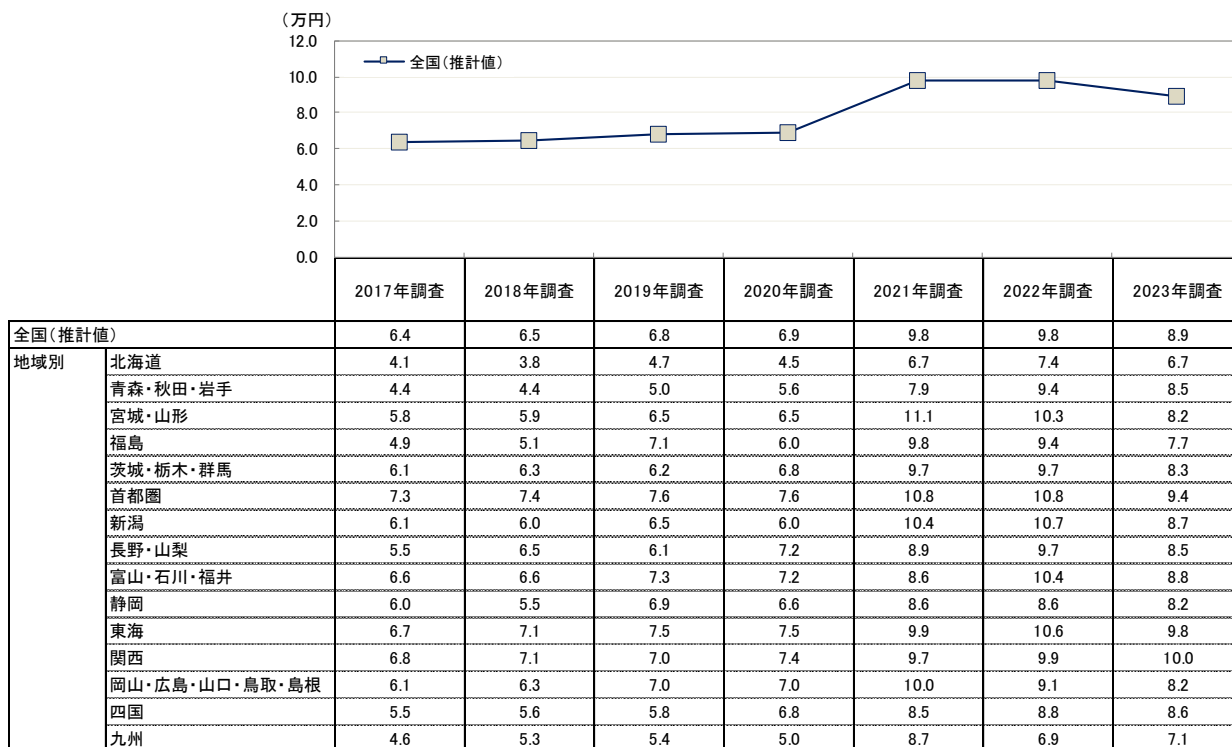


7. 招待客一人当たりの挙式、披露宴・ウェディングパーティー費用

招待客一人当たりの挙式、披露宴・ウェディングパーティー費用の平均は8.9万円。

■ 招待客一人当たりの挙式、披露宴・ウェディングパーティー費用の平均推移

(披露宴・ウェディングパーティー実施者のうち、挙式、披露宴・ウェディングパーティー総額と招待客人数のいずれも回答した人のみ／単一回答)

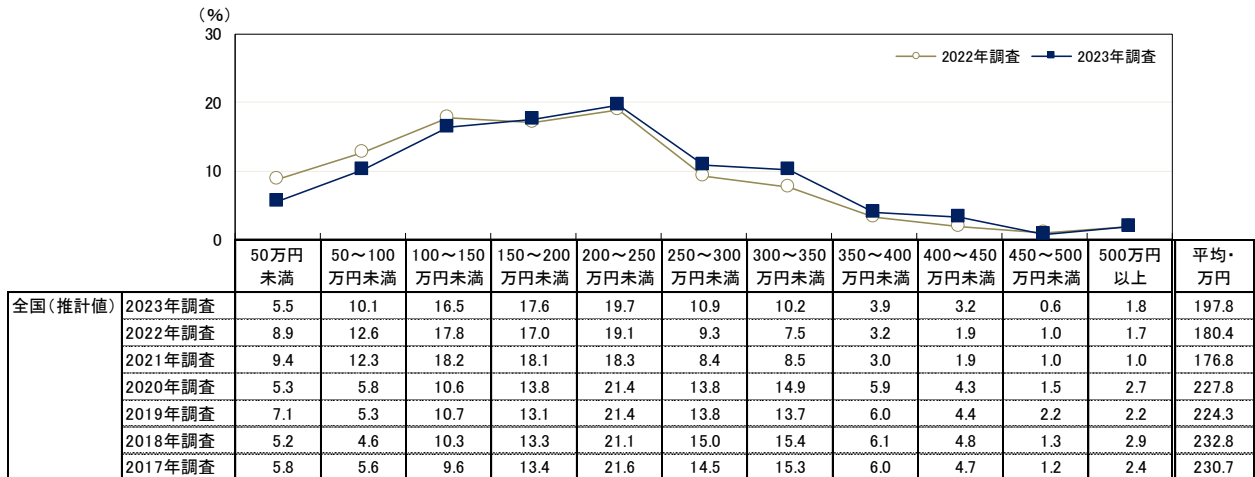


※各サンプルごとに「挙式、披露宴・ウェディングパーティー総額(万円)」を「披露宴・ウェディングパーティー招待客人数(人)」で割って算出

8. ご祝儀総額とカップルの自己負担額

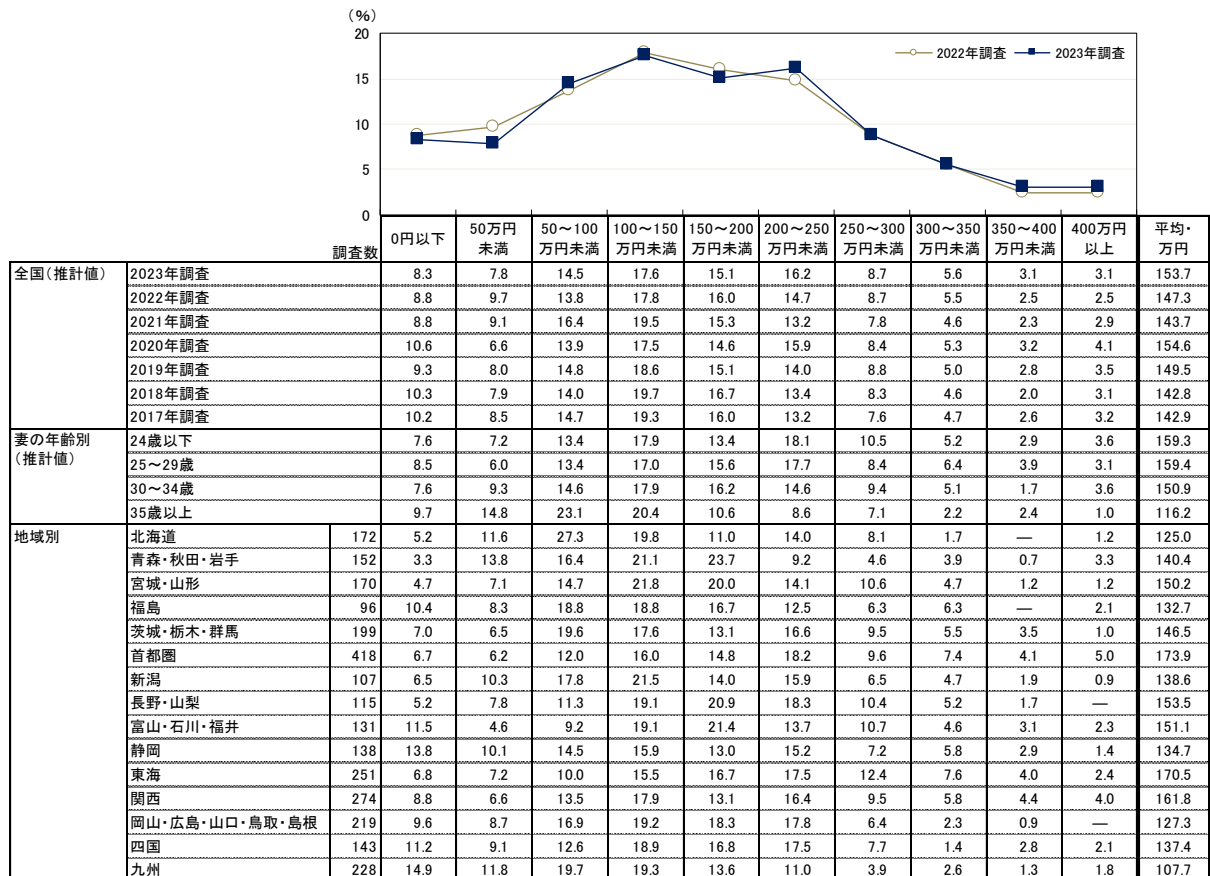
- ▶ ご祝儀総額の平均は197.8万円で、昨年調査から17.4万円回復。
- ▶ 挙式、披露宴・ウェディングパーティーにおけるカップルの自己負担額の平均は153.7万円で、昨年調査から6.4万円増加。

■ ご祝儀総額（ご祝儀制の披露宴・ウェディングパーティー実施者のうち、金額回答者のみ／単一回答）



■ 挙式、披露宴・ウェディングパーティーにおけるカップルの自己負担額

（披露宴・ウェディングパーティー実施者のうち、「挙式、披露宴・ウェディングパーティー総額」および「ご祝儀総額（または会費総額）」の金額回答者のみ／単一回答）



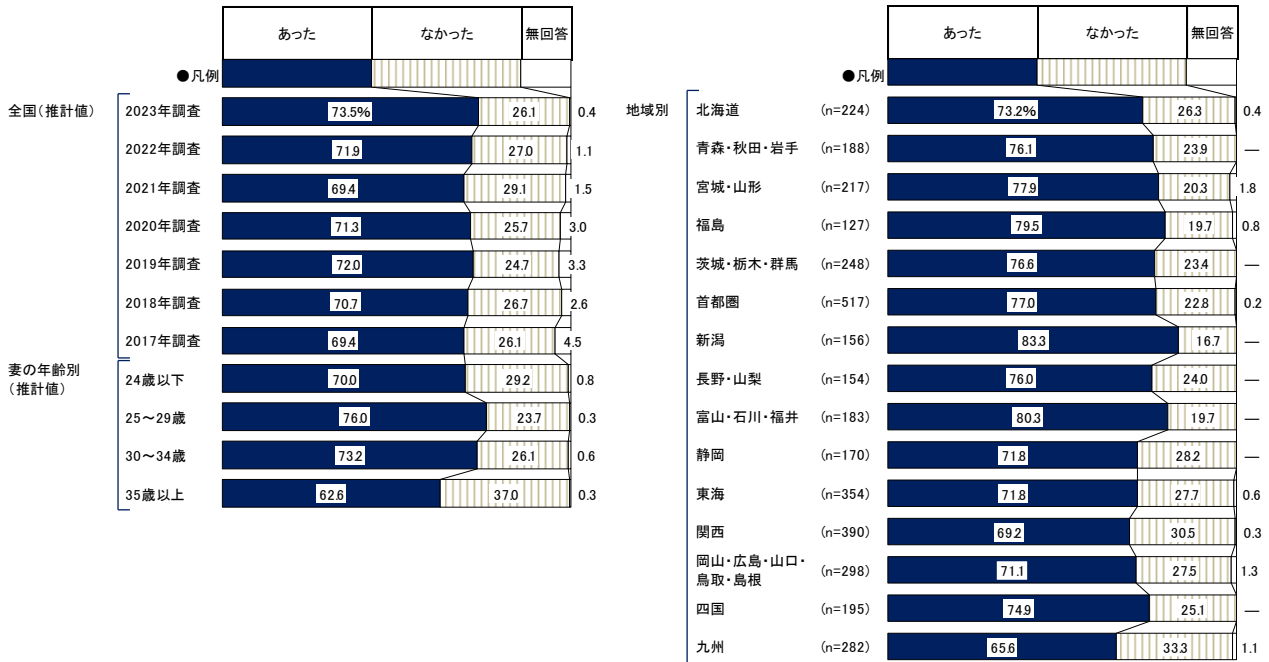
※各サンプルごとに「挙式、披露宴・ウェディングパーティー総額(万円)」から「ご祝儀総額(会費総額)」を引いて算出

※「0円以下」: 挙式、披露宴・ウェディングパーティー総額とご祝儀総額(または会費総額)が同額および挙式、披露宴・ウェディングパーティー総額をご祝儀総額(または会費総額)が上回った人の割合

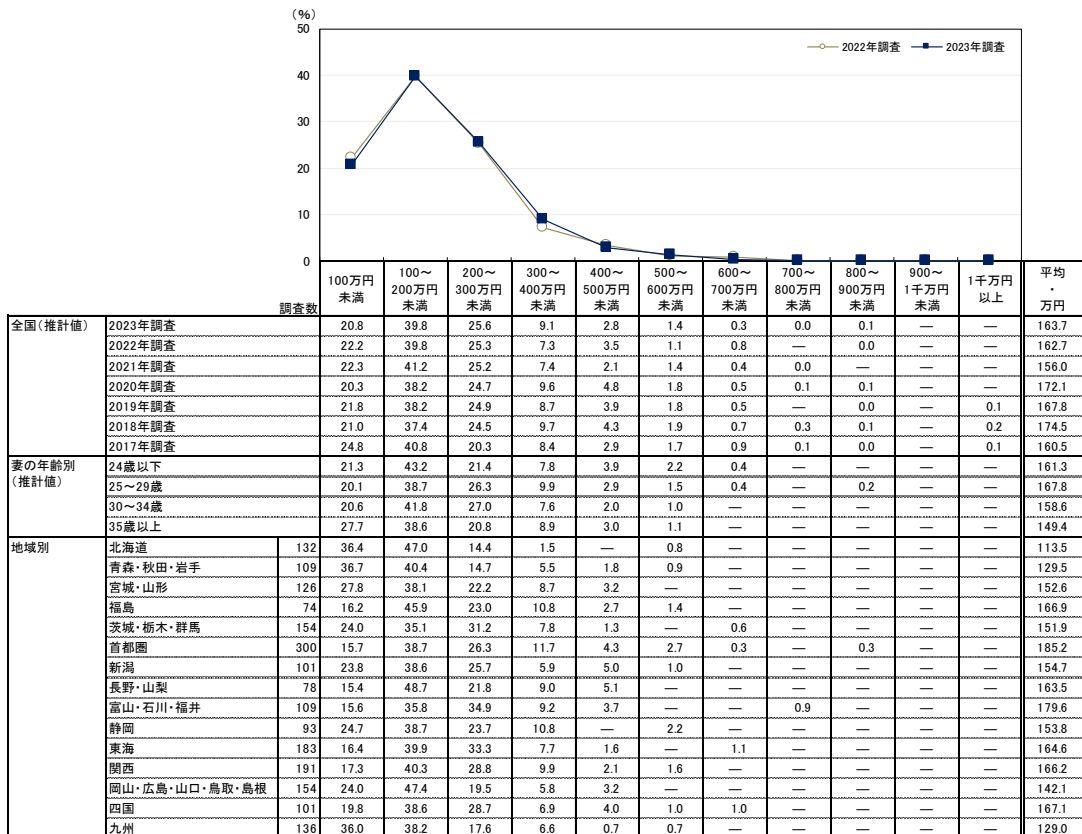
9. 親・親族からの援助

- ▶ 挙式、披露宴・ウェディングパーティーの費用としての親・親族からの援助が「あった」人は73.5%で、昨年調査から1.6ポイント増加。
- ▶ 親・親族からの援助額のうち、挙式、披露宴・ウェディングパーティーに使った金額の平均は163.7万円で、昨年調査から1.0万円増加。

■ 挙式、披露宴・ウェディングパーティーの費用としての親・親族からの援助有無（全体／単一回答）



■ 親・親族からの援助額のうち、挙式、披露宴・ウェディングパーティーに使った金額（親・親族からの援助があった人のうち、金額回答者のみ／単一回答）



見えてきたのは「おもてなし」だけではない、「自分たちが楽しむ気持ち」も大切にすると 「自分たちらしい結婚式」を支えるプロフェッショナルなプランニング力

披露宴・ウェディングパーティーを実施した理由では、親・親族や友人などに、感謝の気持ちを伝えるためや喜んでもらうためといったことが高く、根強い結婚式の目的であることがうかがえます。そんな中、今回の調査では「自分たちが楽しむため」が年々増加しているという点に着目しました。披露宴・ウェディングパーティー実施理由の中でコロナ禍前からコロナ禍もおお連続して増加しているのはこの項目だけであり、2020年調査（コロナ禍前の2019年度結婚式実施者対象）から2023年調査（2022年度結婚式実施者）で4.1ポイント増加しています。

コロナ禍には、多くの人がやむを得ず招待客を絞ることとなりました。P10に示した招待基準の変化からも読み取れるように、結果的に結婚式はより親密な人が集まる場となりました。心から大切に思う親しい人を中心に集まる場だからこそ、過度に気負い過ぎず「大切な人と過ごす時間」を素直に楽しもうという気持ちが高まっているのではないのでしょうか。また、思うように招待客を呼べない中、実施することの意味や自分たちにとっての結婚式の意義を考え抜いたことも、「親や友人たちに感謝の気持ちを伝えるため」だけではなく「自分たちが楽しむ」気持ちを大切にしている傾向につながっているのだと思います。年々高まるおもてなし志向に現れていた「ゲスト軸」に、実施者自身が楽しむ「自分たち軸」も大切にしている志向が加わることで、結婚式がより多様に化する兆しが見えた調査結果となりました。

また、結婚に対する考え方・結婚式を通して得たことにおいては、「結婚式を通して、列席者から二人が応援されていると感じた」が9割以上で年々増加傾向。「結婚式を通して、自分自身やこれまでの人生が好きになったと思う」も8割弱で3年連続増加。結婚式が一層「自己肯定感が高まる場」となっていることがうかがえ、結婚式実施者が結婚式に対して満足した割合は過去最高となりました。

また、2022年度結婚式実施者のうち、「自分たちらしい結婚式ができた」と思う人は97.4%と、多くの人が自分たちらしい結婚式ができた実感している様子がうかがえました。さらに、会場決定後の担当プランナーとのコミュニケーションの内容について、「自分たちらしい結婚式になるような提案があった（63.4%）」が最も高く、「自分たちの要望や意図を理解してくれた（54.4%）」、「プランナーと一緒に、自分たちらしい結婚式を考えることができた（45.5%）」であるという結果から、多くのプランナーがカップルに対し「自分たちらしい結婚式」を実現するための提案をしている実態が明らかになりました。

近年、「二人の希望・要望を叶える」というだけではなく、プランナーのプロフェッショナルなカウンセリング力・プランニング力を駆使して、カップル本人たちも想像できていない、二人らしさの源泉を形にするような結婚式を多く目にするようにもなりました。多くのプランナーが自分たちらしい結婚式になるような提案をし、実際に多くのカップルがそれを実現できることで、「自分たちらしさが何かわからなくても、プランナーさんがきっと導いてくれる」というワクワク感も感じられるようになったのではないのでしょうか。



リクルートプライダル総研
研究員 下伊豆ちひろ

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>